

2011 年度 立命館大学大学院

公務研究科入学試験（一般入試）

小論文試験

試験時間 10 時 10 分～11 時 10 分

（途中退出はできません）

解答はすべて、答案用紙に記入してください。

入学試験問題、下書き用紙は試験終了後お持ち帰りください。

【受験上の注意】

1. 机の上には、受験票のほか、HB の黒鉛筆（シャープペンシルの場合には HB0.5 mm 以上の芯）、黒の万年筆、黒のボールペン、消しゴム、手動式鉛筆削り、時計以外は置いてはいけません。筆箱やペットボトル、缶ジュース、食べ物などは鞆などに入れてください。計算機能・翻訳機能のついている時計、耳栓などの使用は認めません。時計のアラーム機能は解除して置いてください。
2. 携帯電話・PHS 等を持っている人はアラーム機能を解除した上で、電源を切ってディスプレイが確認できる状態で机のうえにおいてください。後ほど監督者が確認に行きますので、確認が終わったら鞆などにしまってください。
3. 試験中に気分が悪くなったりした場合は、静かに手を挙げて監督者に知らせてください。それ以外の途中退室は認めません。途中退室した場合の試験時間の延長はありません。
4. 開始・終了のチャイムはなりません。監督者の時計で行ないますので合図に従ってください。

2011 年度公務研究科入学試験（一般入学試験）

2011 年 2 月 19 日実施

次の 1～6 の問題のうちいずれか一つを選択し、解答しなさい。

その際、選択した問題番号を答案用紙“受験科目名”欄に記入しなさい。

1. 経済学・財政学の観点から、年金制度の一元化の是非について述べなさい。
2. 経済学の観点から、環太平洋戦略的経済連携協定への参加の是非について述べなさい。
3. 二元代表システム下での「分割政府」とはどのような状態であり、それは政治過程の展開にどのような影響を与えると考えられるか、具体的な例をあげながら論じなさい。
4. 「政権交代は民主主義にとって必要だ」といわれることがあるがそれはなぜか、あなたの見解を述べなさい。
5. 日本国憲法の第 94 条に、「地方公共団体は、その財産を管理し、事務を処理し、及び行政を執行する権能を有し、法律の範囲内で条例を制定することができる。」と規定されている。この場合の「地方公共団体」と「条例」について説明しなさい。
6. 民法の第 709 条に、「故意又は過失によって他人の権利又は法律上保護される利益を侵害した者は、これによって生じた損害を賠償する責任を負う。」と規定されている。この条文に明記されている「法律上保護される利益」について説明しなさい。